

2016/1/3

顕現主日

福音書 マタイ2:1-12

第1の日課 イザヤ60:1-6

第2の日課 エフェソ3:1-12

今週の聖句

宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。 マタイ2:11

ねらい

博士たちが、東の国から携えて来たものは、自分の命よりも大切な方への贈物でした。救い主の誕生に、私たちは何の贈物を携えることができるのでしょうか。

説教作成のヒント

まだお会いしたことのない方を探し求めて行く意味と不確定な中であっても、確かさの先取りとしての歩み。（見ないで信じる信仰）

豆知識

- ・乳香はカンラン科の乳香樹（にゅうこうじゅ）という木の樹脂が固まったもの。
没薬も、よく似た種類の木の樹脂が固まったもの。
- ・博士」あるいは「賢者」と訳される言葉「マゴイ」（マギ）の原義は、天文学者であったようです。
- ・三博士の名は、西洋では7世紀から次のような名が当てられている。メルキオール Melchior（黄金-王権の象徴、青年の姿の賢者）、バルタザール Balthasar（乳香-神性の象徴、壮年の姿の賢者）、カスパール Casper（没薬-将来の受難である死の象徴、老人の姿の賢者）。

説教

クリスマスには多くの人々が登場しますが、その中で最後に登場するのが、博士と呼ばれる人たちです。人数は定かではありませんが、携えて来た贈物が三つなので、「三人の博士」と呼ばれています。彼らはユダヤ人ではなく、遠く異国の地から星に導かれるままに歩み続けました。それは、ユダヤ人の王としてお生まれになる方を拝むためでした。

ここで、私たちは不思議なことにきづきます。それは、宗教も文化も民族も異なる救い主の誕生に、遠く見知らぬ国から訪ね求めて来たことです。この博士たちの思いは、いつ、どこで、どのようにして拝むことが出来るという確かさは、何もないのです。つまり、計画があって計画がない世界を歩み続けるのです。私

たちは、あと何日寝ると、クリスマスがやって来る。これだけのことをすれば手に入ると言う予定の中で生活しています。でも、この博士たちは、故国を発ったものの、最終ゴールがいつ、何処なのか、まったく見えなくとも、ただひたすら天空の星に導かれるままに、歩みつづけました。これはまさに、信じ、委ねた姿以外の何ものでもありません。

この博士たちは、当時、占星術の学者と呼ばれ、自国では、地位も名誉もお金も持っていた人たちであったことは、容易に理解出来ます。しかし、その彼らが無計画と思える、それも見果てぬ時間と空間を求めて歩み続ける姿は、どれほど私たちに勇気と希望を与えてくれることでしょうか。

それは、彼らにとっての旅は、危険をも顧みず、明日の保証も確かさもかなぐり捨てて、いつ到着するか分からない旅ではあっても、それ以上に、「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」（2章2節）にすべてがあり、彼らの人生も命も、この救い主を拝むことにすべてがあったのです。

クリスマスは、イエス様のお誕生は、この博士たちのように、私たち一人ひとりが持っている宝物をすべて捧げても余りある大きな救いの出来事なのです。私たちはまず、自分が得か損かを計算して始めるのではなく、すべてを星に任せてひたすら歩み続けた博士のように、すべてを神様に委ねて歩み続ける毎日であり、一年でありたいものです。

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

□21番 「とおくのひがしから」

□改訂版78番 「とおくのひがしから」

やってみよう

☆こまづくり

外国人に神様が姿を現わされた記念日。そして人を選ばずどの人にも輝いた星を覚えて製作しましょう。

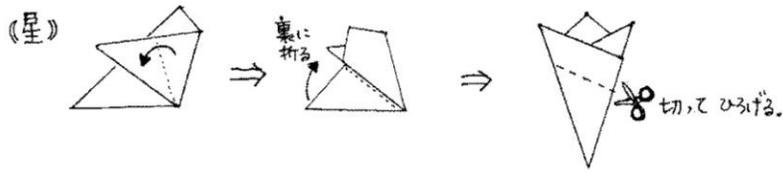
折り紙で星をつくり、中心がわかるようにしておく。

ボール紙に貼り、マッチ棒や割り箸を中心の棒にしてこまを完成させる。

割り箸を使う時は鉛筆削りで先を少し尖らせると良い。

星に色や模様をつけてもよい。

また星を3つ重ねたこまを作ってもおもしろいでしょう。



はなしてみよう

- ・ 旅のおもいでを話そう！
一番長い旅、一番苦しかった旅、一番楽しかった旅、それぞれの理由。
- ・ 一生大切にしたい宝物ってある？
- ・ 博士たちはイエス様を「見つけた」のに何故「顕現（現れる）」っていうの？
「見つける」と「現れる」の違いはなんだろう？

2016/1/10 主の洗礼日

福音書 ルカ3:15-22

第1の日課 イザヤ42:1-7

第2の日課 使徒10:34-38

今週の聖句

聖霊が鳩のように目に見える姿でイエスの上に降って来た。 ルカ3:22

ねらい

神の御子イエスもまたは、洗礼を受けられた。その意味を問う。

説教作成のヒント

洗礼は、罪の赦しを得させるための悔い改めを求めるものであり、水によって新たに生まれ変わる神の恵みの賜物です。イエスもまた神の子でありながら、人の子として洗礼を授けられました。では、神の御子イエスは、なぜ洗礼を受けられたのでしょうか？

豆知識

キリスト教は、新約聖書の福音書に記されている洗礼を重んじ、イエス・キリストがヨルダン川で洗礼者ヨハネから洗礼を受けた場面や、イエスが復活後に使徒たちに「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊のみ名によって洗礼（バプテスマ）を授けなさい。とその使命を与

えられました。

説教

この箇所の冒頭に、「民衆はメシアを待ち望んでいて、ヨハネについて、もしかしたら彼がメシアではないかと、皆心の中で考えていた。」（15節）とありますように、洗礼者ヨハネは民衆からメシアと見なされていました。それは、彼が、「主の道を整え、その道をまっすぐにせよ」の強い口調で、人にとに悔い改めを迫ったからです。しかし、彼もまたメシアではなく、「わたしよりも優れた方が来られる。わたしは、その方の履物のひもを解く値打ちもない」と自分の立場を明確にし、洗礼者ヨハネは民衆に、罪の赦しを得させる悔い改めの洗礼を授けるイエスにも洗礼を施したのです。すると、「イエスも洗礼を受けて祈っておられると、『天が開け、聖霊が鳩のように目に見える姿でイエスの上に降って来た。』」のでした。

ここで、一つの問いが湧いてきます。それは、洗礼が、「罪の赦しを得させる悔い改めの洗礼」であるとするならば、何故、神の子と呼ばれるイエスが洗礼を浮かなければならぬのでしょうか？神の子であるならば、罪なき、汚れなき者としての存在が明らかなのです。にも拘らず、イエスは洗礼を受けられたのです。ではその真意、背後にあるものは一体何なのでしょう。ここで明らかになるのは、イエスは「神の子」と同時に「人の子」とであるということです。これは父なる神の愛以外の何ものでもありません。つまり、「人の子」としてのイエスは、罪なき者であるにも拘らず、私たちの同じ高さ、同じ世界、同じ目線と価値観をもって、私たちの悲しみや苦しみ、また喜びや楽しみを持たれた方として誕生されたということであり、人々の重荷を、ご自分のものとして担われ歩まれるということです。別な言葉で言えば、私たちの生涯の同伴者として、すべてを担われ、分かち合って下さるかたとしておられるということです。それも、見えない存在としてではなく、すぐ隣におられる方としてです。「聖霊が鳩のように目に見える姿でイエスの上に降って来た。」は、その証でもあります。どんな時にも、イエスは神の子としてまた、人の子として、共にいて下さいます。

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

□120番 「どんなときでも」

□改訂版31番 「主よ、おいでください」

やってみよう

☆神様の「きずな」を「ユールヤータ」を作ってあらわそう

「ユールヤータ」の作り方

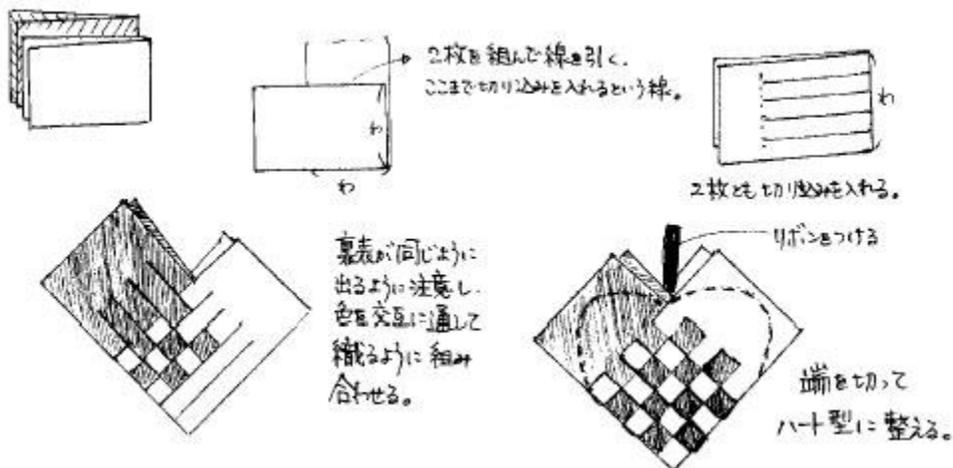
長方形の紙を2つに折ったものを色違いで2枚用意する。

ボール紙に貼り、マッチ棒や割り箸を中心の棒にしてこまを完成させる。

割り箸を使う時は鉛筆削りで先を少し尖らせると良い。

星に色や模様をつけてもよい。

また星を3つ重ねたこまを作ってもおもしろいでしょう。



はなしてみよう

- ・ 洗礼について話してみよう！

自分の洗礼、人の洗礼を見て。

- ・ みんなはどんな時に「きずな」を感じる？

それは誰と、どうしたとき？神さまと「きずな」を感じるときってどんな時？先生や牧師先生に聞いてみよう！

2016/1/17

顕現節第3主日

福音書 ルカ4:16-32

第1の日課 エレミヤ1:4-8

第2の日課 I コリント12:1-11

今週の聖句

「この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した」 ルカ4:21

ねらい

日課の箇所「はっきり行っておく。預言者は、自分の故郷では歓迎されないものだ。」のとおり、イエスと群衆の対峙。人の価値観の拘りと飛躍。

説教作成のヒント

一人の人間の評価は、それぞれの立場、拘わりにおいて大きく異なります。イエスもまたナザレのイエスとしての側面と神の子、救い主としての側面を有しています。つまり、神の側からの評価と人間世界での評価は、どちらが優先するものなのでしょうか。

豆知識

ルカがナザレにおけるこの出来事を最初に記したのは、イエスがご自身を神の子として公けに表明された最初の事件であり、荒野の試誘の結果、イエスが獲得し給える神の子の意識の発表であったためと思われる。

説教

人の確かさは、自分の経験や実績という裏付けでなされるものです。それは、言うまでもなく、人の目と耳と口による評価と 価値観によって支えられています。ですから、評価はそれぞれ一人ひとり異なるのは当然です。そのことを聖書は、「この人はヨセフの子ではないか。」と記し、どこまで行っても、自分たちの側で生活していた馴染みのイエスであり、神の子と呼ばれるに不釣り合いの「ヨセフの子」でしかありません。

元バリ大学教授で哲学者の森有正氏は、著書「土の器」の中で信仰と信頼についてこのように語っています。一般に信仰は信頼の一種ではないかとか、信仰と信頼とは一番近いものと考えがちであるが、本当は一番遠いもので、信仰は信頼の一部ではないと言います。たとえば、ある競技会に選手を送る場合、非常に早く走る人がいて、過去にもよい記録を出し、現在の健康状態も良いとすると、人は積極的な結果を期待して、その人を信頼して競技に送り込むことができる。つまり信頼とは、何かその人に対して頼る、その人を当てる積極的な理由のある時に持つことができる。ところが信仰とは、信頼の念を起こさせるような積極的な要素を欠いていたり、好ましい要素がないにもかかわらず、ある一つのことを本当であると信じることである。キリストは信頼ではなく信仰を求めておられる。逆に、信頼の基準に立って判断し識別している生き方、これが実は聖書でいう罪という姿を示している、そして、人間と人間の関係、人格と人格の関係というものは、本当の意味では信仰によってでしか維持することのできないものと言われます。

このように、ナザレの人々も、群衆も皆自分の確かさ、信頼の領域においてイエスを評価しています。しかし、神の子として今、「この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した」という言葉は、

まさに、信頼から信仰への飛躍でしょう。人の評価から神様の評価へとすべてを委ねたとき、新たな広い世界が広がってきます。

さんびしよう

*讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

47番 「せいしよはかみのことば」

改訂版6番 「イエスさまのことばが」

やってみよう

☆伝言ゲーム

チームに分かれてやってもよい。

聖書のみことばをいくつか選んで紙に書き、折りたたんでおく。

(※よく耳にするみことばではない箇所や覚えにくい箇所などみことば選びも工夫してください)

最初の人のみことばの紙を1枚選びとり、それを覚える。紙はリーダーに返す。

覚えたら次の人の耳元へ小さな声で伝える。

順にひとりずつ聞いたことばを覚えて次の人へ伝えていく。

最後の人にはみんなに伝わったみことばをそのまま発表する。

まちがいなく伝わったかな？

☆みことばを贈ろう

先週作ったユールヤータの中に大好きなみことばを書いてお友だちやお家の人にプレゼントをしよう。

みことばカードを色画用紙に貼って裏にメッセージを書いてもいい。

はなしてみよう

- ・（会堂があいていたら）みんなで聖書朗読台で聖書を読んでみよう！どんな気分だった？
- ・ みんなが救われるのと、自分だけが救われるのと、どっちが良い？
お腹の減った10人の人が1枚のクッキーをどう分けたらみんなが救われるだろうか？
お腹の減った人の気持ちになって、また、分ける人の気持ちになって考えてみよう。

2016/1/24

顕現節第4主日

福音書 ルカ5:1-11

第1の日課 エレミヤ1:9-12節

第2の日課 Iコリント12:12-26節

今週の聖句

「恐れることはない。今から後、あなたは人間をとる漁師になる。」 ルカ5:10

ねらい

人間世界と神世界。神のみ意志に従う生き方とは何か。

説教作成のヒント

シモンと呼ばれる漁師とイエスの対話。イエスは、「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をなさい」（4節）の言葉に、漁師シモンは、「先生、わたしたちは、夜通し苦勞しましたが何もとれませんでした。しかしお言葉ですから、網を降ろしましょう。」（5節）とありますように、漁師として素人イエスとプロの漁師シモンとのやりとりと、逆転の結論をとおして、弟子となるシモンに注目してみましょう。

豆知識

ガリラヤ湖畔で漁を生業としていたシモンは、特別貧しかったというより、当時は、ガリラヤ湖畔での漁業権を有していたことから、社会的には十分生活が成り立つ療育の人であったと思われます。そのシモンが、生活の保障、人生の保証である舟を、「すべてを捨ててイエスに従った」（11節）のでした。

説教

さて、イエスの「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をしてみなさい」に対するシモン・ペトロの「先生、わたしたちは、夜通し苦勞しましたが、何もとれませんでした。しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましょう」は、積極的というよりも、人生の挫折にも近い消極的な響きの言葉のようです。そこには夜通し苦勞したが、その結果何の収穫もなく、徒勞に終わったという事実があります。普通、漁師として生業を立てる者は、これまでの経験と感のような研ぎ澄まされた漁師としての自信をもって、最も多くの収穫を手に出るであろう季節と時間と場所を見計らって漁に出たはずですが、それはペトロたちの期待を大きく裏切るものでした。その働きと努力が報われたとき、それは疲れがあったとしても心地よいものに変わりませんが、その努力が報われなかったとしたら、疲れは何倍にも加算されるものです。本日のシモン・ペトロも働きが徒勞に終わり、疲れと苦悩にも似た思いを抱いて網を洗っていたに違いありません。できれば、網を洗うことよりも、一刻も早く家に帰ってその疲れを癒したいと思ったかも知れません。そのような時、イエスの「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をしてみなさい」という言葉は、疲労と苦悩という火に油を注ぐようなものであったことは容易に想像できます。と言うのも、ペトロはイエスという評判のよい男であっても、所詮、漁のことは何も分かっていない素人のイエスが……との思いを抱いたかも知れません。

では、イエスの「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をしてみなさい」と言われる「沖」は、一体何を意味するのでしょうか。それは言うまでもなく、自分の思いや自負心を捨てる領域であり、自分のこれまでの経験や価値観をすべて放棄させる領域なのです。この沖は、未知の領域で、まさにイエスに委ねた領域に属するところと言えるでしょう。今イエスの言われる「沖」とはシモン・ペトロの知っている領域、漁師として経験済みの領域とは異なるものを意味し、私たちの経験や確かさをすべて拒否する領域であるということです。そして、ここで放棄できないペトロの思いを大きく覆す出来事が起こったのです。これが神の領域なのです。自分の経験と確かさの延長線上で見ていたペトロは、イエスの中に奇跡を見たのです。そのときイエスは、「恐れることはない。今から後、あなたは人間をとる漁師になる。」と約束されたのでした。

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

67番 「ペテロは」

改訂版53番 「ペトロは」

やってみよう

☆ゲーム「イエスさまに従いました」

リーダーがイエスさま役。みんなは弟子になる。

さんびか（たとえばこどもさんびか53）を歌いながら部屋を歩き回り、突然リーダーが「（例えば）本箱！」と言うとみんなで本箱にタッチしに行く。

リーダー（イエスさま）の言う通りにすばやく?! 従って行動しましょう。

※「イエスさまが言いました」という他のゲームでもよい。「イエスさまが言いました。〇〇してください」と言われた時はその動きをする。「イエスさまがいました」と言わなかった時は動いてはいけない。

はなしてみよう

- ・ 「罪深い人」ってどんな人？
- ・ ペトロさんは何故恐がったんだろう？
みんながイエスさまから同じように言われたら、みんなどうする？
- ・ 「人間をとる漁師」って実際にはどんな仕事だろう？

2016/1/31

顕現節第5主日

福音書 ルカ6:17-26

第1の日課 エレミヤ17:5-8

第2の日課 I コリント12:27-13:13

今週の聖句 「貧しい人々は、幸いである、神の国はあなたがたのものである。 ルカ6:20

ねらい

「貧しい人々」とは、誰のことでしょうか。イエスは何故、誰に語られたのでしょうか。

説教作成のヒント

「山上の説教」として有名な箇所です。しかし、マタイには「幸いである」のみですが、ルカ福音書は、「幸いである」と「不幸である」とがそれぞれ、4つずつ記されています。

豆知識

「幸い（マカリオス）」という単語ですが、元々、時間や状況によって変動する儂（はかな）いこの世の幸福ではなく、悲しみや不遇によっても消されることのない神の祝福を意味するものです。

説教

「貧しい人は、幸いである、神の国はあなたがたのものである」と言われるこの「神の国が約束されている人々」とは、「人の子のために追い出され、ののしられ、……」とありますように、人の子のために貧しい人であり、飢えている人であり、涙する人々なのです。自分のためだけに生きていることではないのです。ちなみに、イエスの言われる「幸い（マカリオス）」という単語ですが、元々、時間や状況によって変動する儂いこの世の幸福ではなく、悲しみや不遇によっても消されることのない神の祝福を意味するものです。そして、私たちに何の前提条件も付けず、イエスは私たちを幸いと言われるのです。これは、どのような中に置かれようとも、それ以前に神による幸いがあるということです。逆に、富んでいる者の不幸、飢えている者に対して満腹している者の不幸、泣いている者に対して笑っている者の不幸というこれらの不幸をイエスが言われるとき、また、「すべての人にほめられるとき」とありますが、これは言い換えれば人間の判断によるもの、この世の価値に重きが置かれている状況です。つまり、「自分のため」ということであり、イエスが言われる幸いと不幸の違いは、「自分のため」か、それとも「人の子のため」「神のため」かということになるのです。

ここで大切なことは、貧しい人が幸いであるというとき、貧困そのものが幸いだとか、病人が幸いだということではなく、「神の国があなたがたのものである」という前提があるからこそ幸いなのです。つまり、神は貧しい人や病人、苦しんでいる人々を救われるという大前提があります。このことを明確にしておけば、私たちが住む世界ではネガティブと思われる、悲しんでいるとき、泣いているときというのは、誰にも言えない、また解決の糸口を見出せない時ですが、むしろ、そんな時だからこそ、神は共にいて下さり、慰め、恵み救いを与えて下さる時で、神に目を向ける、委ねる方を見出す時でもあるのです。そのとき初めて、私たちは神の存在に、また共にいて下さる方に気づくのかも知れません。私たちが自分のためにと追い求めているものは、神に背を向けたときに手にする世界であり、自分のためにとということで満たされている世界なのでしょう。

さんびしよう

□119番 「やさしいめが」

□改訂版114番 「やさしいめが」

やってみよう

☆幸いと不幸

8枚のカードを用意します。

ルカ福音書にある4つの幸い、4つの不幸を8枚のカードに書いていきます。

幸いと不幸はそれぞれ相對するものがありますので、それを表裏に張って4枚のカードにします。

そのときに子供たちと話しながらかやってみましょう。

「貧しい人々は幸いである」の對になっているものは何かをさがしていきます。

4枚のカードになったところで、それぞれ裏表を見ながら何が大切なことかを話し合ひましょう。

はなそう

- ・ 4つの幸いとはどんなことですか
- ・ 4つの不幸とはどんなことですか
- ・ どの幸いと不幸が對になっていますか。